



こどもどくしょまつり 2021

毎年、みやこ町の各図書館で実施しているどくしょまつりの一環として3月26日(金)から5月26日(水)まで、子どもの本の特別展示を行っています。花をテーマに、絵本や物語などの本を展示していますので、ぜひご利用下さい。

なお、図書館を利用いただいている皆さんから寄せられた花の折り紙やぬり絵も飾っています。



新刊案内

《小説》

- 『その扉をたたく音』 瀬尾まいこ(著) 集英社
- 『再建の神様』 江上剛(著) PHP 研究所
- 『クララとお日さま』 カズオ・イシグロ(著) 早川書房
- 『傷痕のメッセージ』 知念実希人(著) KADOKAWA
- 『大義』 今野敏(著) 徳間書店
- 『救急患者 X』 麻生幾(著) 幻冬舎
- 『どの口が愛を語るんだ』 東山彰良(著) 講談社
- 『道連れ彦輔居直り道中』 逢坂剛(著) 毎日新聞出版
- 『正欲』 朝井リョウ(著) 新潮社
- 『沙林』 帚木蓬生(著) 新潮社
- 『ドキュメント』 湊かなえ(著) KADOKAWA
- 『アウトサイダー 上・下』 スティーブン・キング(著) 文藝春秋

《その他》

- 『うらやましい孤独死』 森田洋之(著) 三五館シンシャ
- 『狭い部屋でも快適に暮らすための家具配置のルール』 しかまのりこ(著) 彩図社
- 『文春の流儀』 木俣正剛(著) 中央公論新社
- 『大事なことは植物が教えてくれる』 稲垣栄洋(著) マガジンハウス
- 『わたしの理想のキッチン』 雅姫(著) 集英社
- 『星ひとみの天星術』 星ひとみ(著) 幻冬舎
- 『子どもの脳と心がぐんぐん育つ絵本の読み方選び方』 仲宗根敦子(著) パイインターナショナル
- 『天皇家 250年の血脈』 つげのり子(著) KADOKAWA

5月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

6月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

おはなし会 (会場:中央館) 0~2歳くらい (11:00~) 3歳くらいから (14:00~)
 休館日 ●中央館 ●犀川・勝山館 ●全館



図書館員おすすめの本

『もしかして ひょっとして』

大崎 梢(著) 光文社(2020)



もしかして?ひょっとして?そんなハテナを抱きながら行動する主人公や登場人物たち。そして読む側にも、もしかして?と思わせる出来事が散りばめられた短編集。誰にでも起こりうる日常の些細な出来事がテーマだったり、殺人だったり、結末が知りたくて一気に読み進められる。[和]

『どんな咬み犬でもしあわせになれる』

北村 紋義(著)KADOKAWA (2021)



咬みつくが故に保護された犬たち。人間の都合によって咬まざるを得なくなったことを知ってほしい。涙と笑顔が絶えない1冊。 [台]

『樹木とリーフで小さな庭づくり』

安元 祥恵(監修) ナツメ社(2021)



樹木とリーフを生かして、小さなお庭を素敵に変身させてみませんか?本書では実例から管理まで豊富な写真と資料でわかりやすく解説しています。[凜]

『夜叉神川』

安東 みきえ(著) 講談社(2021)



夜叉神川にまつわる、どこか不思議な短編集。誰しも心に鬼が潜んでいる。心の中の鬼と良心の葛藤がうまく描かれていて、考えさせられた…。 [はりねずみ]

『樫乃木美大の奇妙な住人』

柳瀬 みちる(著) KADOKAWA(2016)

樫乃木美術大学に通う長原あざみは、引っ込み思案な性格のせいでいつもひとりぼっち。ある日、教室内で事件が起きてあざみに犯人の疑いがかけられる。オロオロするあざみを助けてくれたのは…。美大を舞台に繰り広げられる青春ミステリー。

2巻まで発売中。 [Ma]



編集後記

コロナ禍で迎える2度目のゴールデンウィーク。みなさん、いかがお過ごしでしょうか?引き続き、ステイホームが呼びかけられていますが…。おうち時間を楽しく快適に過ごすヒントを、図書館で探してみませんか? (片)

祝 本屋大賞受賞

京都都在住の作家、町田そのこさんが「52 ヘルツのクジラたち」で本屋大賞を受賞されました。図書館にも所蔵していますので、ぜひ、読んでみてください。



休館日

中央館:毎週火曜日

犀川・勝山館:毎週月曜日

全館:毎月最終木曜日

開館時間

全館 10:00~18:00

みやこ町中央図書館 ☎33-1040

みやこ町犀川図書館 ☎42-3330

みやこ町勝山図書館 ☎32-3455

■『その扉をたたく音』瀬尾まいこ(著) 集英社 ■『再建の神様』江上剛(著) PHP 研究所 ■『クララとお日さま』カズオ・イシグロ(著) 早川書房 ■『傷痕のメッセージ』知念実希人(著) KADOKAWA ■『大義』今野敏(著) 徳間書店 ■『青い孤島』森沢明夫(著) 双葉社 ■『救急患者 X』麻生幾(著) 幻冬舎 ■『どの口が愛を語るんだ』東山彰良(著) 講談社 ■『泳ぐ者』青山文平(著) 新潮社 ■『道連れ彦輔居直り道中』逢坂剛(著) 毎日新聞出版 ■『52 ヘルツのクジラたち』町田そのこ(著) 中央公論新社 ■『正欲』朝井リョウ(著) 新潮社 ■『沙林 偽りの王国』帚木蓬生(著) 新潮社 ■『ドキュメント』湊かなえ(著) KADOKAWA ■『愛は魂の奇蹟的行為である』なかにし礼(著) 毎日新聞出版 ■『アウトサイダー 上・下』スティーブン・キング(著) 文藝春秋

■『すぐにもらえるお金と使えるサービス』溝口知実(著・監修) 自由国民社 ■『うらやましい孤独死』森田洋之(著) 三五館シンシャ ■『志麻さんのベストおかず プレミアムなほぼ 100 円おかず編』タサン志麻(著) 扶桑社 ■『狭い部屋でも快適に暮らすための家具配置のルール』しかまのりこ(著) 彩図社 ■『文春の流儀』木俣正剛(著) 中央公論新社 ■『大事なことは植物が教えてくれる』稲垣栄洋(著) マガジンハウス ■『わたしの理想のキッチン』雅姫(著) 集英社 ■『星ひとみの天星術』星ひとみ(著) 幻冬舎 ■『子どもの脳と心がぐんぐん育つ絵本の読み方選び方』仲宗根敦子(著) パイインターナショナル ■『天皇家 250 年の血脈』つげのり子(著) KADOKAWA ■『警視庁科学捜査官 難事件に科学で挑んだ男の極秘ファイル』服藤恵三(著) 文藝春秋



【中央館】



【犀川館】



【勝山館】



